

令和2年7月20日

(公社) 神奈川県医師会 会長 殿

(公社) 神奈川県病院協会 会長 殿

新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部長

新型コロナウイルス感染症の拡大に備えた入院医療体制の整備について (送付)

日頃から本県の健康医療行政の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、神奈川県でも再び患者が増加傾向にあり、去る7月17日には「神奈川警戒アラート」の発動基準である「週平均1日あたりの県内の新規陽性患者数33人」を超えたため、県では同日付けでアラートを発出し、いわゆる3密を避けるなど感染対策の徹底や、感染防止対策が取られていない場所には行かないこと等、県民に注記喚起を図ったところです。

こうした中、入院医療体制につきましては、神奈川モデル認定医療機関の長あてに別添の文書を発出し、周知させていただきましたので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

問合せ先

医療機関調整班 森、小笠原、須藤

電話 045-285-0777(直通)

ファクシミリ 045-633-3770

電子メール kenzou-kansen@pref. kanagawa. jp

令和2年7月20日

新型コロナウイルス感染症医療体制  
神奈川モデル認定医療機関の長 殿

新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部長

新型コロナウイルス感染症の拡大に備えた入院医療体制の整備について（依頼）

日頃から本県の健康医療行政の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、神奈川県では、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）に係る緊急事態宣言解除後、コロナへの警戒体制と日常の地域医療との両立を図るため、コロナ患者が少数な状態が続いた場合の即応病床（注1）の縮小について、貴医療機関をはじめとする神奈川モデルの各認定医療機関と調整を進めてきました。

しかしながら、神奈川県でも徐々に患者が増加し、去る7月17日には「神奈川警戒アラート」の発動基準である「週平均1日あたりの県内の新規陽性患者数33人」を超えたため、県では同日付けでアラートを発出し、いわゆる3密を避けるなど感染対策の徹底や、感染防止対策が取られていない場所には行かないこと等、県民に注記喚起を図ったところです。

一方、入院医療体制につきましては、この「神奈川警戒アラート」を発出した場合、即応病床を2週間以内に1,100床まで拡大するよう、神奈川モデル認定医療機関に要請することとしていましたが、7月16日時点での即応病床は870床であること、また、病床拡大の基準となる推計入院患者数が151人であるところ、現状の入院患者数は101人と基準値を下回っていることから、現時点では即応病床の拡大の要請は行いません。

今後、入院患者数の動向を踏まえ、入院患者が150人を超えた時期を目安に即応病床の拡大を検討し、必要と認められた場合は総合的な判断に基づいて要請させていただく予定ですので、その際にご協力くださいますようお願いいたします。

また、コロナ以外の日常の地域医療の推進にご尽力いただくよう重ねてお願いいたします。

（注1）即応病床：コロナ患者の即時受入が可能な病床

問合せ先

医療機関調整班 森、小笠原、須藤

電話 045-285-0777(直通)

ファクシミリ 045-633-3770

電子メール kenzou-kansen@pref.kanagawa.jp

## 神奈川県内における新型コロナウイルス感染状況

### 1 県内の新型コロナウイルス感染状況

緊急事態宣言解除後（5月26日以降）の県内の感染者の状況について、新規陽性患者数は10人以下の状況が6月29日まで続いていたが、ここ数日、緊急事態宣言が解除された以降、最も多い水準で推移している。

#### 【新規陽性患者数の推移】



### 2 神奈川警戒アラートの発動基準

本日の全県の新規陽性患者数は43人であり、神奈川警戒アラートの発動基準である「本県の人口で再計算をした週平均1日あたり新規陽性患者数33人（直近7日間の新規陽性患者数の累計230人）」を超えた。

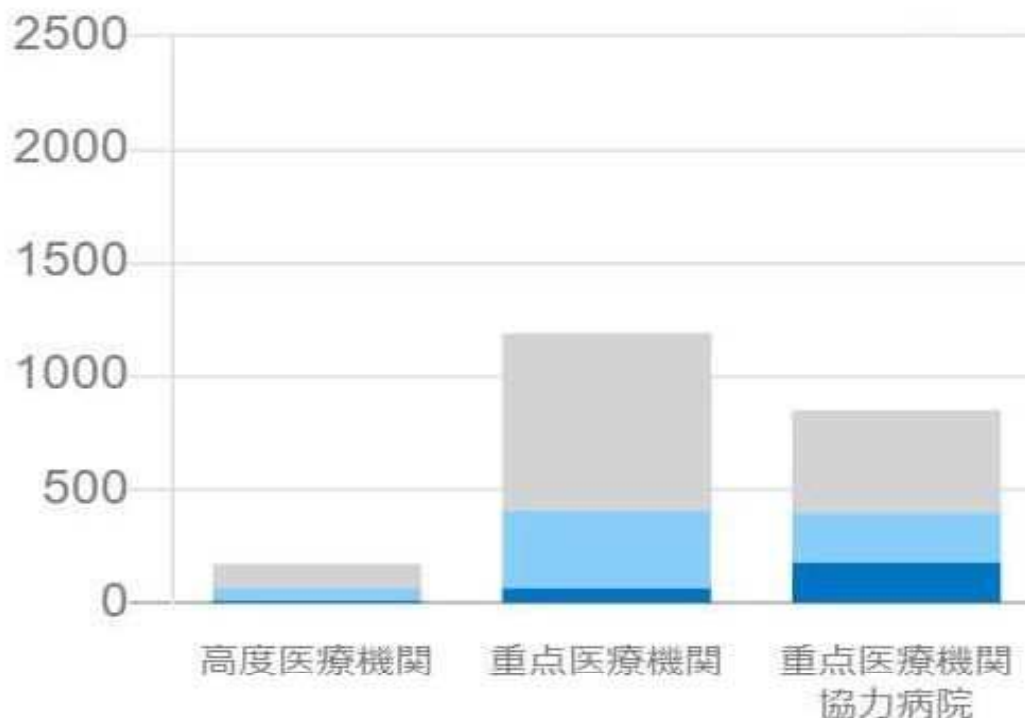
#### 【神奈川警戒アラート指標（新規陽性患者数（過去1週間の平均））】

日付	新規患者数	過去1週間の累計	平均
7月11日	34	154	22.00
7月12日	24	158	22.57
7月13日	16	163	23.29
7月14日	26	180	25.71
7月15日	43	200	28.57
7月16日	48	223	31.86
<u>7月17日</u>	<u>43</u>	<u>234</u>	<u>33.43</u>

### 3 病床の利用状況

一方で、現在、重症・中等症の患者に対応するために確保している病床に対して、入院患者数は少ないことから、医療提供体制には、まだ余裕があることが伺える。

【病床利用率（7月16日現在）】



確保病床：172	確保病床：1190	確保病床：850
稼働病床：63	稼働病床：407	稼働病床：400
使用中：9	使用中：65	使用中：177
使用率：14%	使用率：16%	使用率：44%

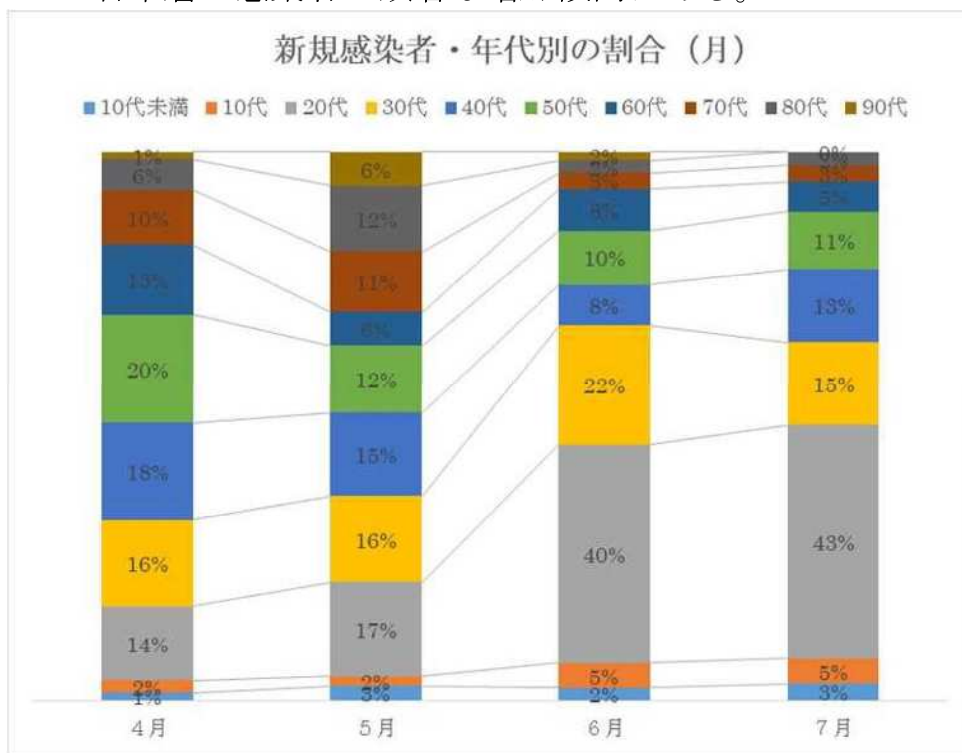
(注) 利用数・利用率には疑似症患者を含む。

7月16日現在、陽性患者の入院患者は101名、疑似症患者は合計で150名。

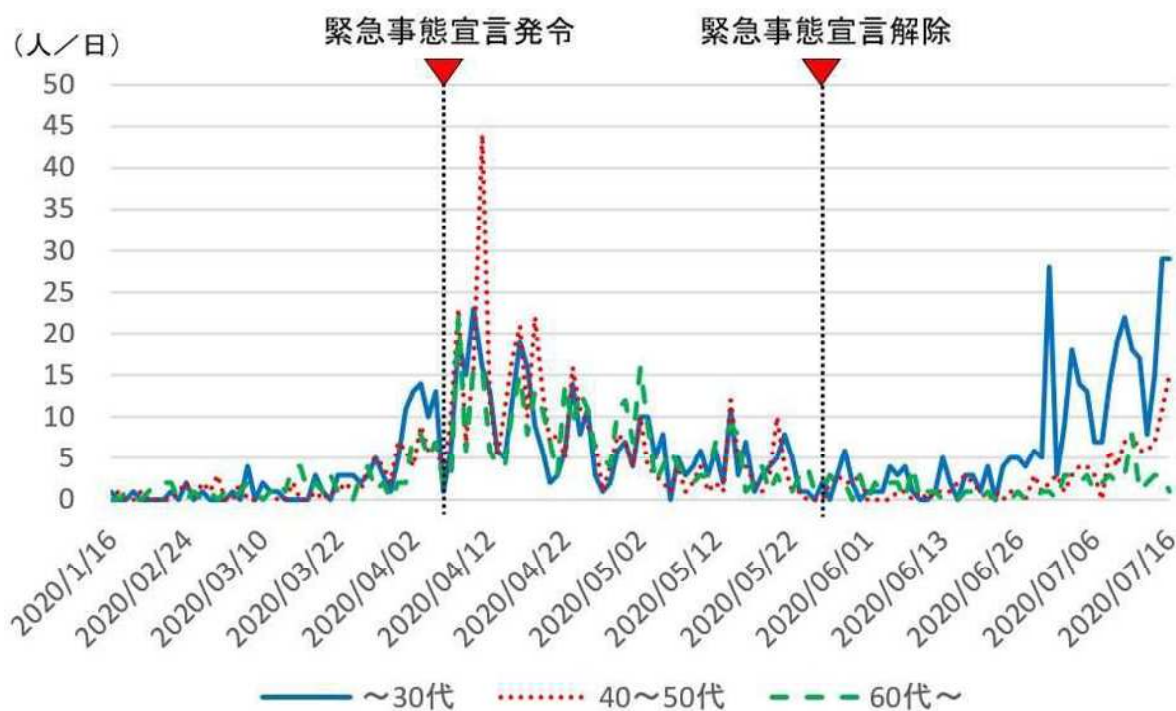
## 4 データ分析

### 【年齢別感染者の推移】

4月の流行時には60代以上の高齢者が比較的多かった。6月以降は、30代までの若年層の感染者が顕著な増加傾向にある。

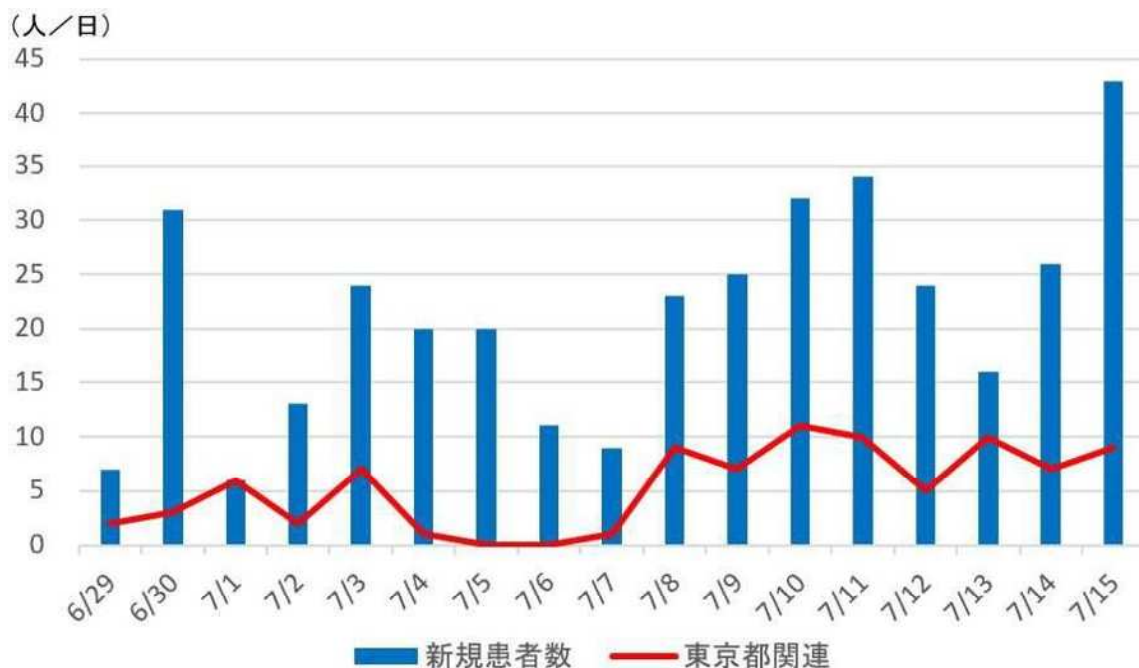


6月下旬から7月にかけて、30代までの若年層が増加する傾向に加え、直近では40～50代が急激な増加傾向にある。



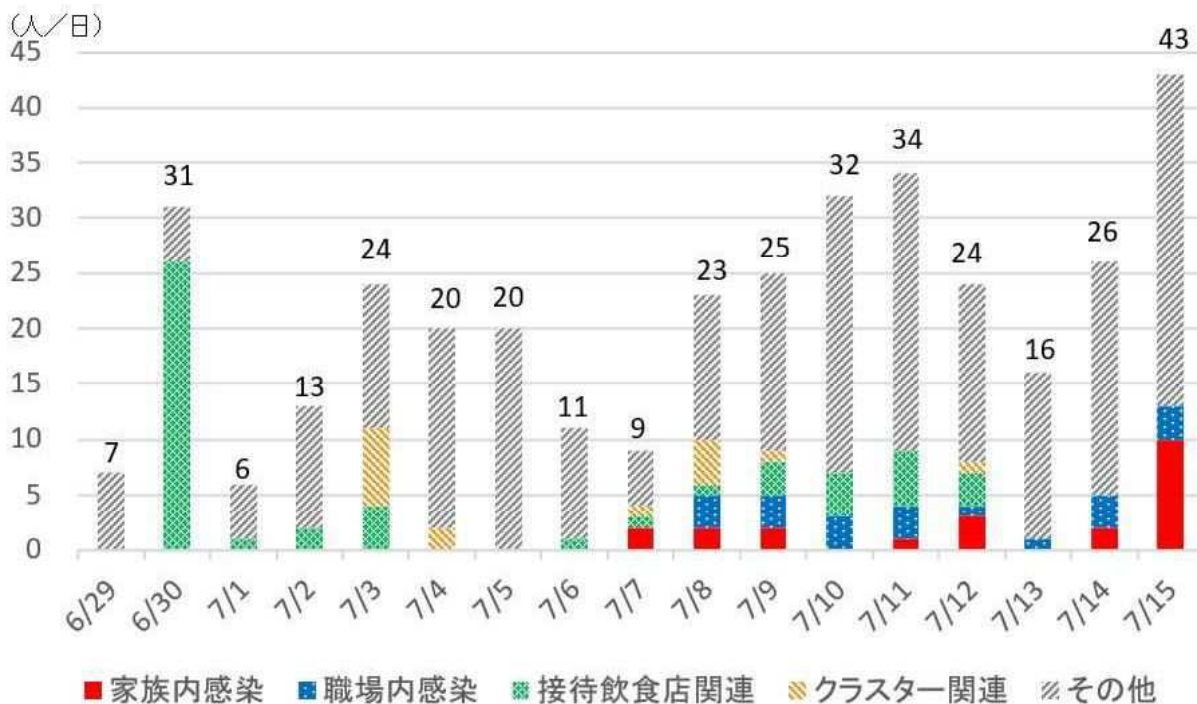
### 【東京都関連の感染者数の動向】

感染が拡大した6月下旬以降、東京都関連の感染者数は、新規感染者数全体に占める比率の上昇は見られないものの、一定数継続している。



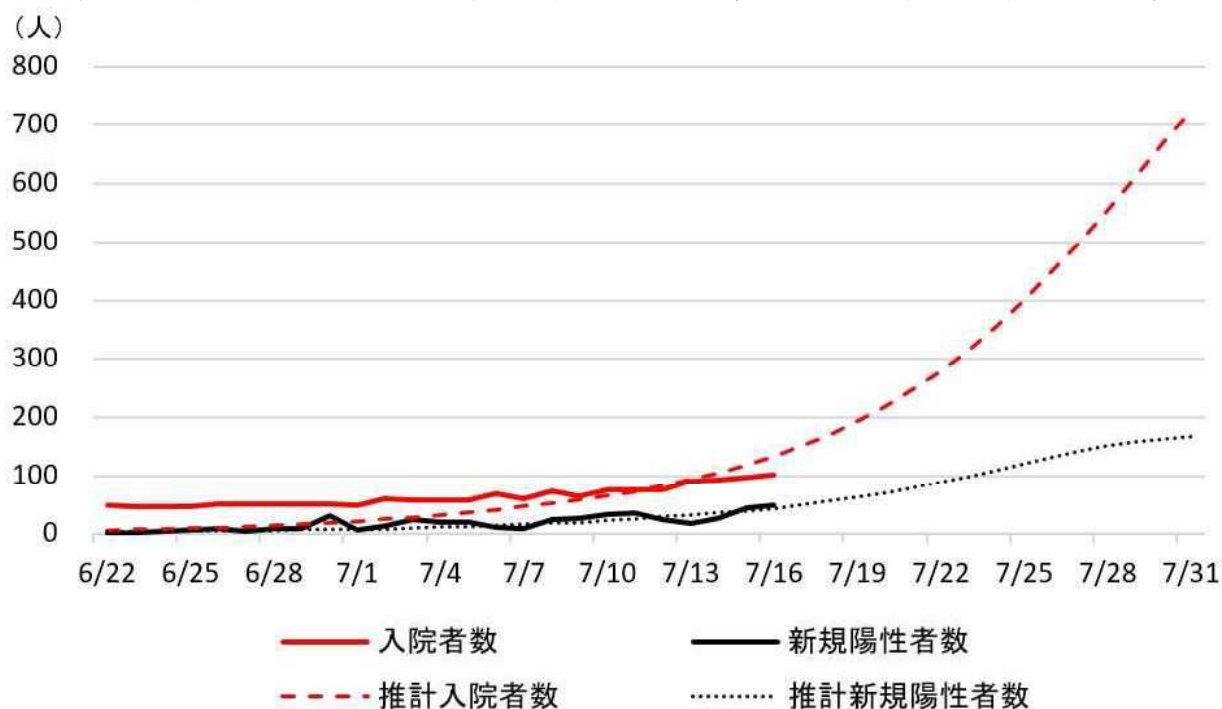
### 【感染経路別の動向】

6月末に接待を伴う飲食店での感染拡大が見られたが、7月7日以降は家族内感染、職場内感染が見られる。



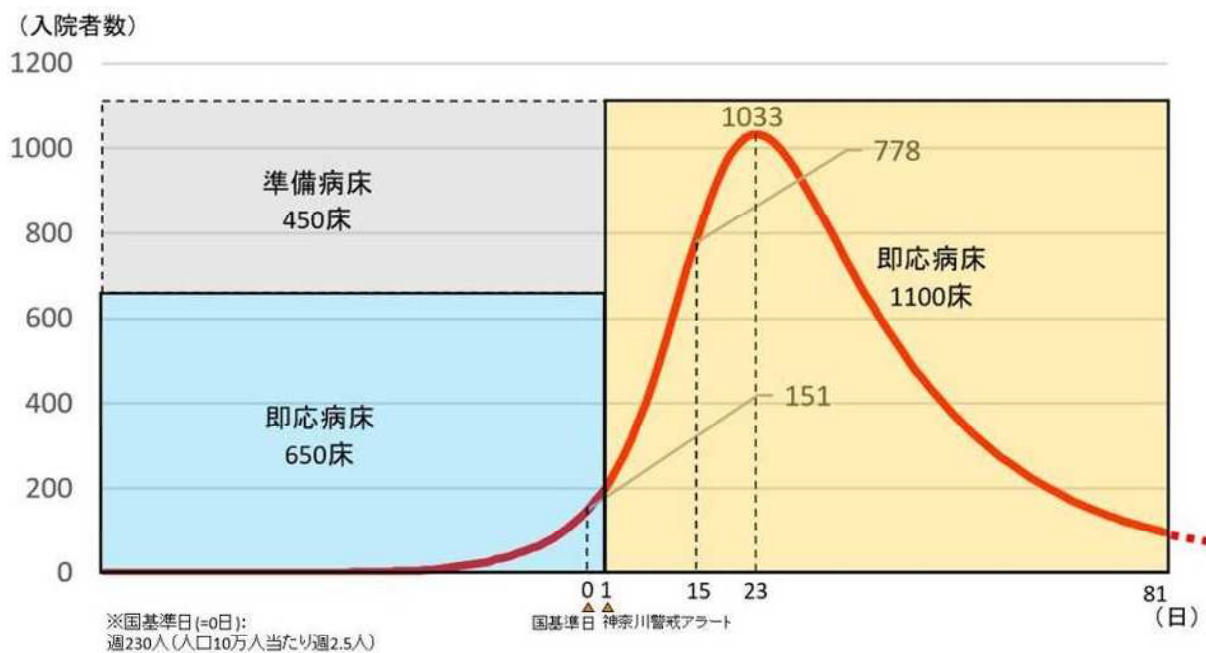
### 【実績数と推計モデルの比較】

6月下旬以降の新規感染者の動向は、推計モデル通りに推移しているが、入院患者数の動向は推計入院者数に比べて増加がなく、かい離がある。



### 【推計モデルによる】

推計モデル上の基準日に相当する推計入院患者数は151人だが、7月16日の入院者数は101人である。



## 5 県の対応

今回のアラートでは医療機関に対して、病床拡大の要請を行わない。病床拡大については、今後の入院患者数の動向を踏まえ、入院者が150人程度となった時期を目安に改めて発出する。